

# 2021 RS-CUP 中部ミニロード選手権シリーズ車両規定

## ①総合規定 全ての車両に該当する規則

01. 前後輪に独立した有効なブレーキを備えていること。ブレーキパッド・シューの変更可。
02. ハンドルを左右いっばいに切った際、タンク・車体・カウル等にライダーの手指が挟まれない間隔を確保していること。
03. ブレーキ・クラッチレバー・グリップレバー・パーエンドキャップの変更可、但しレバー類の先端は球状（丸み）であること。
04. ステップ・ペダル類の先端は丸められていること。また、走行中路面に接地する突起物は取り除くこと。路面接地の関係上、安全を目的としたステップ・ペダル類の改造・変更可。
05. バックミラー・スタンド・キャリア・ランプ等アクセサリー類は取り外すこと。
06. カウル類を取り外す場合は、ステー類（突起物）も取り外すこと。フレームは最小限の不要ステー切除のみ可、クラック等修理のための溶接は認めるが、OPEN クラスを除き補強を目的とした溶接および軽量を目的とした切除は不可。
07. ボルト・ナット類の変更は可、但しアクスルシャフト・スイングアームピボット・ブレーキ系・エンジン内部等の重要箇所は不可。エンジン・ミッションオイルの給油口・ドレンボルトにはワイヤーロックを施すこと。
08. キャブレターのオーバーフローホース等転倒時に燃料が出る可能性のあるホースには、透明又は半透明で 100cc 以上のキャッチタンクを装備すること。
09. 4st 車のブローバイホースには相応量のキャッチタンクを装着のこと、但しエアクリーナ BOX がその役割を果たせばそれでも可。また下部へオイルが漏れた際の受け皿として、受け皿機能のあるアンダーカウルを装着することを推奨する。
10. ラジエーター装備車は冷却水が漏れ出しにくいリザーバタンク又は相応量のキャッチタンクを取り付けること。サーモスタットは自由。
11. すべてのキャッチタンクは走行前に必ず空にすること。
12. 前後アクスルシャフトの固定には、ロックナット又は割ピンを使用すること。
13. チェーン駆動車は、万一指などが巻き込まれないよう F スプロケットガード・チェーンガードを装着すること。ドリブンスプロケットガードを装着するためのスイングアームの加工は可。前後スプロケットは歯数・材質の変更可。チェーン銘柄変更可。
14. キャブレターのジェット類ニードル類・点火プラグの変更可。
15. タイヤは一般市販品（誰もが購入できるもの）のみとし、摩耗限度を超えたものやグルーピング等の加工を施したものは使用不可。
16. 原則として前面・両側面の 3 か所に  $\geq 20\text{ cm} \times 20\text{ cm}$  以上のゼッケンスペースを設けること。但し KIDS クラスは前面のみでも可。
17. 排気管変更可クラスで、極端に排気音の大きい車両は競技から除外します。（主催者判断・目安 = フロント前全開通過時 100db 以下）
18. 燃料はガソリンスタンドで誰もが購入可能なものとし、特殊燃料（航空燃料など）や性能向上目的添加剤の使用は禁止します。
19. 他のライダーや施設に迷惑や危険を及ぼす改造・変更は認めない。

## ②KIDS クラス

01. 排気量 50 cc 未満、10 1/2 以下タイヤ、手動クラッチなし車両とし、下記以外は市販時のままとする。
02. 動力性能に影響のないステップ・ペダル・ハンドル等安全性向上を目的とした変更や小改造は可。
03. チェーンサイズの変更は不可。スプロケットの変更は歯数・材質とも可。
04. エアクリーナ変更・取外しは可（エアクリーナ BOX は不可）。PW・QR 等の排気による速度リミッターの取外しは可。
05. カタログ性能数値 7ps 未満の車両とする。

## ③M クラス

01. 2st-50 cc 未満、4st-100 cc 未満の車両で、下記以外は市販状態とする。
02. リミッターの解除可、CDI・プラグコード&キャップの変更可、ワイヤーハーネスの改造・変更可。但しメインキーを取り外す場合はキルスイッチを装着の事。IG コイルは生産終了等で入手できない場合に限り変更可。
03. 前後スプロケット・チェーン・チェーンサイズの変更可。
04. 市販時フルカウルの車両は、スクリーンを含み取外し不可。但し社外品への変更可。（フルカウル車に限り F フェンダー取外し可）
05. シートカウルを含みカウル類やメーター類は、転倒時など簡単に外れないよう強固に固定すること。そのためのステーの追加や加工は認める。（樹脂製結束バンドでの固定は不可）
06. 前後ブレーキは市販時のものとするが、レバー・パッド・シュー・フルード・ホース・バンジョーボルトの変更は可。リヤブレーキに限り、リザーブタンクレスキットへの変更可。
07. R ショックの変更可。但し取付け部の加工・改造は不可。
08. F サスペンションの変更は不可。但しインナーパーツの改造・変更・追加、スタビライザーの追加は可。ダストシール取外し可。
09. ステアリングダンパーの追加は可。但しステアリングストッパーとの兼用は不可。

10. エアクリーナ（BOX・エレメント）改造・変更・取外し可。キャブレター無加工装着ならファンネルの装着可。
11. 始動機構及び関連部品の取外し可。2st 分離給油装置（ポンプ・タンク・ワイヤー）の改造・変更・取外し可。
12. アクセルワイヤー（ハイスロ含む）の改造・変更可。メーター類の改造・変更・追加・取外し可。
13. 水冷車のラジエーター本体の改造・変更は不可。但しカバー・サーモスタット・シユラウド等の改造・変更・追加・取外しは可。  
生産中止等により適合ラジエーターが入手困難な車種は、他機種ラジエーター流用を認める。但しステー加工や追加により取付けるものとし、フレームの切断等大改造は不可。
14. ガソリントタンクは市販時のままとするが、フューエルコック・給油口の改造・変更可。
15. バッテリーの変更・取外し及び充電コイルの取外し可。
16. APE100 系・XR100 系・NSF100 系は無加工装着であれば部品の互換を認める。APE・XR は無加工装着に限り PD22 キャブレターと CRF100 用排気管への換装可とし、インテークマニホールドも無加工装着であれば変更可。  
NS50F(R)車体と上記 100cc エンジン+排気管の組み合わせも認め、エンジン換装に際しクレードル部の最小限の改造は認める。  
ホンダ 2st50cc 車は、MBX～NSRmini までのエンジンの互換性を認める。4st・2st ともミッションは一体ごとの互換性とし、歯車の組み合わせ等で変速比を変更してはならない。生産中止等で入手不能な部品の社外品使用は認める。

#### ④4st50 クラス

01. 4st50cc 未満自動クワッパ車、市販時のホイール径およびメインフレーム、02 に示す項目以外のエンジン本体部品を変更改造しなければ他は改造自由。12 インチ車両は対象外とする。※エンジン本体=キャブレター&マニホールド・排気管を除くエンジン部分（ECU 車はサブコ可）
02. キャブレター車のカムシャフト変更可、純正 4 速クロスミッション又は純正同等品（ギヤ比など）への変更可。

#### ⑤NSF100 クラス

01. 原則として、最新の NSF100HRC トロフィー規則に準ずる。
02. NSF100HRC トロフィー規則では細かなボルト・ナット類まで純正品とありますが、当レースでは常識の範囲なら変更を認めます。

#### ⑥GROM4/GROM5 クラス

01. 原則として、最新の HRC GROM Cup 規則に準ずる。

#### ⑦SP クラス

01. 原則として、M クラス+下記とする。
02. 4st エンジンのオイルクーラー追加及びそれに伴う最低限の変更・加工は可。
03. 4st エンジンはノーマルカム×キャブ自由またはハイカム×22φ口径キャブとする。
04. 2st エンジンは排気管自由、キャブレター自由とする。

#### ⑧ST125/250 クラス

01. ST125 = 実質排気量 150 cc 未満単気筒、ST250 = 250cc 未満単気筒 4st エンジン公道用一般市販車とする。
02. 燃料噴射車の ECU の変更不可、サブコントローラーの追加は可。エアクリーナ BOX は変更・改造可、ファンネル装着も可。
03. ボルトオン装着に限り排気管の変更可。（極端に大きな排気音の車両は競技から除外する・主催者判断）
04. カウル類・足回り・シャシ関係及びキャブレター車の吸気系改造変更範囲は M クラスに準ずる。
05. タイヤは公道用とし、レース用スリックタイヤの使用は不可、レインタイヤは可。
06. ST125 の RS4 に限り 149cc までのオーバーサイズ加工を認める。

#### ⑨OPEN クラス

01. 車種問わず 2st 85cc 未満、4st 200cc 未満改造自由とする。
02. ①総合規定内の安全規定は満たしていること。
03. エンジン×フレームを他車種で組合わせた際の、参加申込書の車両名はエンジンの車両名を記入のこと。存在しない自作の車両名は不可とします。（正しい例：YZ85・CRF150 など、正しくない例：CBR100RX・GSX90RR・AKECHI150 など）

- 自分本意な拡大解釈等はせず、車両規定に記載無き事項は OK ではなく NG と判断し、不明な点はお問い合わせ下さい。
- 当規定は主催者が必要と認めた時は、シーズン途中であっても規定内容を変更することがある。（HP などで告知）